



平成 29 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 天馬株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 藤野 兼人  
 (コード：7958、東証第一部)  
 問合せ先 執行役員財務経理部長 須藤 隆志  
 (TEL. 03-3598-5515)

## 平成30年3月期 第2四半期連結累計期間業績予想との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成29年5月12日に公表しました平成30年3月期 第2四半期連結累計期間業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。また、通期業績予想を修正しましたので、あわせてお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

## 1. 平成30年3月期第2四半期連結累計期間業績予想数値との差異(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	37,600	1,800	2,300	1,700	70 円 45 銭
実績値(B)	37,190	1,157	1,718	1,300	53 円 89 銭
増減額(B-A)	△ 410	△ 643	△ 582	△ 400	
増減率(%)	△ 1.1	△ 35.7	△ 25.3	△ 23.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年3月期第2四半期)	37,571	2,227	2,211	1,791	74 円 22 銭

## 2. 平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	78,000	4,200	5,000	3,900	161 円 62 銭
今回修正予想(B)	78,000	2,200	3,000	2,300	95 円 32 銭
増減額(B-A)	0	△ 2,000	△ 2,000	△ 1,600	
増減率(%)	—	△ 47.6	△ 40.0	△ 41.0	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	75,793	4,525	4,906	3,827	158 円 59 銭

## 3. 平成30年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値との差異(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	11,600	1,800	1,500	62 円 16 銭
実績値(B)	10,980	1,462	1,165	48 円 26 銭
増減額(B-A)	△ 620	△ 338	△ 335	
増減率(%)	△ 5.3	△ 18.8	△ 22.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年3月期第2四半期)	11,183	598	495	20 円 50 銭

## 4. 平成30年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	24,500	2,800	2,300	95 円 32 銭
今回修正予想(B)	23,300	1,700	1,600	66 円 31 銭
増減額(B-A)	△ 1,200	△ 1,100	△ 700	
増減率(%)	△ 4.9	△ 39.3	△ 30.4	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	23,353	1,430	1,185	49 円 13 銭

## 5. 差異及び修正の理由

### (1) 連結

当第2四半期連結累計期間につきましては、個別業績が下振れしたこと、工業品合成樹脂製品分野の売上高が、中国から東南アジアへの生産シフトが加速するなか減少したこと等により、営業利益が業績予想を下回りました。

また、通期連結業績予想につきましても、第2四半期連結累計期間までの業績及びPT. TENMA INDONESIAの新工場稼働に伴う立上げ費用等の今後の見通しを踏まえ、上記のとおり修正いたします。

### (2) 個別

当第2四半期累計期間につきましては、ハウスウエア合成樹脂製品分野の売上高が伸び悩んだこと、原材料及び資材価格の上昇、物流コストの増加等の影響を受けたことにより業績予想を下回りました。

また、通期個別業績予想につきましても、ハウスウエア合成樹脂製品分野での新製品投入や構造改善による収益力強化に注力してまいります。第2四半期累計期間までの業績及び今後の見通しを踏まえ、上記のとおり修正いたします。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上